

JANPU FDミニマムシリーズ

B. 学士課程のカリキュラム（教育課程）



大学設置基準では「教育課程」という用語を使用していますが、「カリキュラム」と同義です。このシリーズでは、カリキュラムを使用しますが、教育課程と読み替えていただいても結構です。



一般社団法人 日本看護系大学協議会

2021年度高等教育行政対策委員会 作成



大学設置基準では、授業科目とカリキュラムについて以下のように説明されています。

第十九条（教育課程の編成方針）

大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。



学校教育法や設置基準で言われているように、専門分野の学識のみならず、すべての大学卒業生に共通する社会人として通用する力が求められ、これは学士力と呼ばれています。

大学教育が共通して育成する力：学士力

1) 知識・理解

- ①多文化・異文化に関する知識の理解
- ②人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

2) 汎用的技能

- ①コミュニケーション・スキル ②数量的スキル ③情報リテラシー
- ④論理的思考力 ⑤問題解決力

3) 態度・志向性

- ①自己管理能力 ②チームワーク/リーダーシップ ③倫理観
- ④市民としての社会的責任 ⑤生涯学習力

4) 統合的な学習経験と創造的思考力

(平成20年12月中央教育審議会答申)



「カリキュラム」は、 狭義な意味でも、広義な意味でも使われます。

狭義のカリキュラム

教育目標を達成するために、単位化された教科目による
教育内容と学習支援を総合的に計画したもの。

広義のカリキュラム

教育目標を達成するための、教科目によらない学習活動
も含める。



看護系大学のカリキュラム編成上の共通項

- 🔄 在学年数：4年間（大学設置基準）
- 🔄 卒業に必要な単位数：124単位以上（大学設置基準）
- 🔄 1単位：45時間の学修を必要とする内容（大学設置基準）

授業方法に応じ、授業と授業外の時間配分は大学で決める

- ・講義及び演習：授業は15～30時間 授業外は30～15時間
- ・実験、実習及び実技：授業は30～45時間 授業外は15～0時間

国家試験受験資格を得るには

- 🔄 看護師の教育内容は102単位（保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表三
令和2年公布令和4年施行）
- 🔄 保健師の教育内容は31単位（保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表一
令和2年公布令和4年施行）
- 🔄 助産師の教育内容は31単位（保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表二
令和2年公布令和4年施行）



カリキュラムは、各大学の教育上の目的を果たすためのものなので、大学設立の目的からつながっています。

- 🔄 各大学を設置する法人における最高の規程は
学校法人* では「寄附行為」
国立大学法人・公立大学法人では「定款」 です。
- 🔄 寄附行為や定款には、その法人を設立した時の使命が述べられ、それが大学の教育理念や目的・目標につながっているはずです。
- 🔄 ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーは、大学や学部の設置の目的から、実際のカリキュラムにつながるまでの考え方の流れを説明するものです。

*学校法人は私立大学を設置できます。株式会社も設置可能ですが、ほとんどが学校法人です。

所属大学の寄附行為や定款を見たことがありますか？

まだでしたら、一度ご覧ください。

大学設置の目的・教育理念

どういう人材の育成を行い、それによってどのように社会に役立とうとしているのか、各大学・学部・教育プログラムの使命

教育目標

どういう能力を持った人材を育成するのか、教育理念を具体化したもの

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）：DP

卒業・修了までに学生が身につける能力と、その能力を獲得したことを何によって判断するかを学生にわかるように示したもの

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）：CP

ディプロマ・ポリシーを満たす人材の育成のために、どのような教科目を編成するか、どのような教育内容、教育学修方法で行うか、どのように到達度を評価するか、カリキュラムを作るときの考え方

カリキュラム

カリキュラム・ポリシーに基づき、教育目標を達成するために、単位化された教科目による教育内容と学習支援を総合的に計画したもの

教科目（シラバスに示される）

科目名称、単位数、学年配置、担当者、科目目標、DP・CPとの関連、授業計画（内容・教授方法・課題等）、評価方法等



学士課程で看護学系のカリキュラムを編成するときの参考資料を3つ紹介します。はじめの2つは、他領域と横並びなので、目次等が共通の枠でつくられているという特徴があります。

1

日本学術会議：大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（看護学分野）（平成29年9月29日）

<https://www.sci.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-h170929-9.pdf>

日本学術会議が、すべての学問分野について、大学教育におけるカリキュラム編成の際に、参照すべき基準を公表しています。

2

文部科学省大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会：看護学教育モデル・コア・カリキュラム～「学士課程においてコアとなる看護実践能力」の修得を目指した学修目標～（平成29年10月31日）

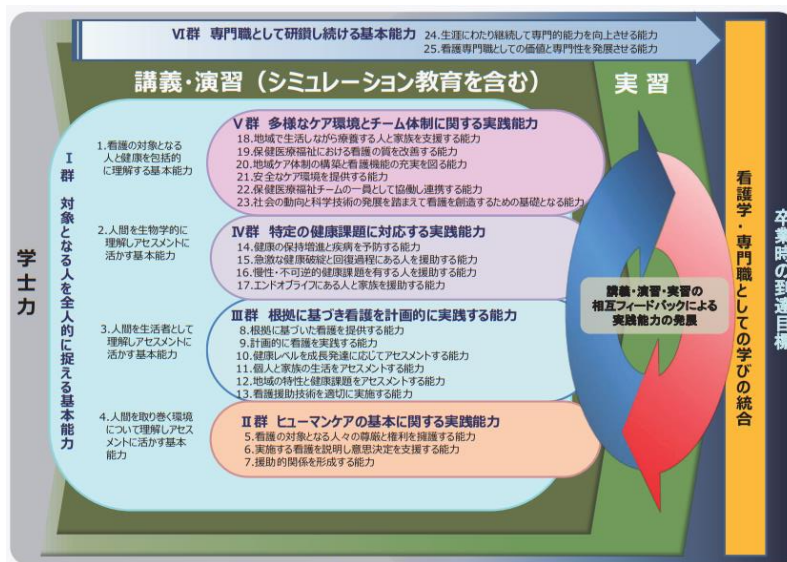
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/078/gaiyou/_icsFiles/afieldfile/2017/10/31/1397885_1.pdf

文部科学省高等教育局医学教育課では、医療系の人材育成（医学・歯学・薬学・看護学）に関し、モデル・コア・カリキュラムを作成、公表しています。

日本看護系大学協議会：看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標（平成30年6月）

<https://www.janpu.or.jp/file/corecompetency.pdf>

日本看護系大学協議会では、学士課程のカリキュラムについて常に検討を重ねています。現在公表しているのは平成30年のものです。



コアコンピテンシーに基づく看護学士課程教育の構造

- 以上の参考資料は、学術団体、文部科学省、日本看護系大学協議会が、どんな意見を持っているかを知る報告書です。
自学で独自に教育課程（カリキュラム）を作成・改訂するときに、検討の材料になると思います。いずれも法ではなく、強制力はありません。
- 出所は異なりますが、看護は変化する多様なニーズに対応していくもので、研究開発が必須という前提は共通しています。
- 事象の探求と言語化、新しい技術の開発は、大学に共通した役割であり、学士課程で看護学教育を行うことの意味がここにあります。